

【銭亀沢地区が目指す人間像】

自分を考える人間 ひとに思いやりのある人間 みんなにつくすよろこびをもつ人間



【校訓】一人ひとりが輝く

【学校教育目標】かしこく やさしく たくましく

【育成する資質・能力】

- 自分の考えを持つ力
- 自分で表現する力
- 人を大切にする力
- 挑戦する力

重点教育目標

伝え合い、思い合い、挑み続ける子
〈かしこく〉〈やさしく〉〈たくましく〉

表現する力と意欲（伝え合い） 相手を思う心と行動（思い合い） 挑戦する力と粘り強さ（挑み続ける）

優先する3つの柱

伝え合いを軸とした授業改善

- ◇見方・考え方を働かせ対話や協働で学ぶ
教科の見方・考え方を働かせながら、対話や協働で考えを広げ深める授業を行う。
- ◇個別最適×協働で探究的に学ぶ
「一人で考える」「みんなで考える」を組み合わせ探究的に学ぶ授業づくりを行う。
- ◇ICT等を活用し、表現の場をつくる
一人ひとりに合った学び方（ICT、少人数）を生かしながら、考えを表す場を意図的に設ける。
- ◇発表や交流を日常化する
発表や交流の場を工夫し、考えを伝え合う活動を日常的に位置付ける。
- ◇伝え合いで考えを深める
伝え合いを通して考えを深める授業を進める。

見方・考え方を働かせる授業
個別最適×協働の授業づくり
表現する力を育てる研修
ICTを活用した学びの充実

思い合いを基盤とした学びに向かう力の育成

- ◇一人ひとりを見取り、寄り添う
一人ひとりのよさや教育的ニーズを見取り、思いに寄り添いながら関係づくりを進める。
- ◇挨拶と関わりを大切にする
心のこもった挨拶や関わりを大切に、互いを認め合い、思いを伝え合う場を日常的につくる。
- ◇個に応じた学びで自己調整力を育てる
個に応じた支援や学び方の選択を通して、自ら学びを調整できる力を育てる。
- ◇家庭とつながり、学びの習慣を育てる
家庭と連携しながら学習や読書の習慣を育て、学びを生活へつなげる。
- ◇思いやりと自己有用感を育てる
道徳や特別活動を通して、思いやりや自己有用感を育て、挑戦しようとする意欲につなげる。

児童理解と相談体制 挨拶・日常の関わり
読書の習慣化
個に応じた支援の充実
参加型の活動づくり

挑み続ける力を育む探究的な学びの深化

- ◇教科と総合を行き来しながら探究的に学ぶ
総合的な学習の時間を中心に、各教科等での学びと往還しながら探究的な学びを進める。
- ◇地域の人・もの・ことに主体的に関わる
地域の人・もの・ことに関わる場を積極的に設けながら、探究的な学びを進める。
- ◇探究的な学びを通して、挑戦する力と粘り強さを育む
探究的な活動で育てる力を明確にし、挑戦し続ける力や粘り強さにつなげる。
- ◇発信の場をつくり、学びの成果を広げる
学びの成果を発信する場を積極的に設け、学びを広げる。
- ◇学びを振り返り、次につなげる
振り返りを通して、学びを見直し、次の学びへつなげる。

体験活動や地域での学び
振り返りを生かした学びの改善
学びを支える体力づくり
学習環境の整備と改善

目指す学校風土

児童一人ひとりが自分らしく輝き、互いを認め合いながら挑戦を重ねる、温かくも凛とした学校風土

経営の基盤となる4つのキーワード

- 【AAR】 見通しをもったら臆せず実践・行動し、適時振り返り評価し、すぐに改善・修正を行う
- 【プロジェクト】 自己存在感の実感・自己有用感の育成・自己決定の場の提供 伝え合い、思い合い、挑み続ける経験を積み重ねる教育活動
- 【寄り添う】 挨拶や対話を通して相手の状況や思いに心を寄せ、互いを尊重し合いながら関わる
- 【安心・安全な教育環境をつくる5つの「あ」】 「あいさつ」「あいづち」「ありがとう」を通して人とつながる
「あきらめず」に課題に向き合う 「あ」という気づきや納得を素直に表現する

地域

児童一人ひとりが安心して学びに向かい、可能性を最大限に伸ばす学校

銭亀沢中学校

PTA

保護者が子供の成長を実感し信頼を寄せる学校

教職員が専門性を発揮し、働きやすく働きがいのある学校

学校運営協議会

銭亀沢小開校5年目 これまでに築き上げてきた実践

関係機関との連携

みんなで作る みんなの銭小